



目標は「Jリーグ優勝！」
選手の支えになりたい

CLOSE UP
大村人

けがなどで試合出場が困難と診断されたプロサッカー選手のリハビリを手掛けている本市出身の高木祥さん。日本プロサッカーリーグ（Jリーグ）の「サガン鳥栖」に所属し、フィジオセラピスト（理学療法士）兼アスレティックトレーナーとして、日々、選手の心と体のケアに奮闘中です。

高木さんは、中学生の時に腰を痛め、高校生まで市内の整骨院に通院。けがに悩まされながらも、好きなサッカーを続けられたのは信頼ある整骨院の先生との出会いでした。「自分のような人たちの役に立ちたい。」そんな思いがきっかけで今の道に。「リハビリした選手が試合に復帰して活躍してくれるとやりがいがある。」と、思いを語ります。

プロチームのトレーナーになれたのは「タイミングが良かっただけ」と謙遜する高木さんですが、技術や熱意、努力が認められたからこそ。「昨年のチームの成績はJ1で5位。今こそ、もっと底上げしていきたいといけません。」と、3月に開幕するJリーグに向けて意気込みます。

これからの目標を伺うと、「スポーツは感動を共有できることが素晴らしい。チームがリーグ優勝し、アジアチャンピオンズリーグに出場できるよう、今後も選手たちの支えとなり、将来的には高校生以下の育成世代で、けがに強く世界で活躍できる選手を育てたい。」と高木さん。その真つすぐなまなざしに迷いはありません。

サガン鳥栖フィジオセラピスト

高木 祥さん



クローズアップ

大村人

vol.4

このコーナーは、ふるさと大村を思いながら、市内外で活躍する“大村人”を紹介します。



▶リハビリ中の選手と一緒にトレーニング

Profile

たかき・しょう
大村高校、弘前大学（青森県）を卒業後、大阪の病院に就職し3年間勤務。その後、筑波大学の大学院へ進学。スポーツ医学を専攻しアスレティックトレーナーの資格取得（理学療法士は大学時に取得）。卒業後、サガン鳥栖に勤務（4年目）。鳥栖市在住。32歳。